

クラハシ増収増益

20年
3月期 鮮魚、水産、食品で増収

クラハシ（広島県福山市、天野文男社長）の2

020年3月期単体売上高は前期比2%増の210億1900万円だった。鮮魚、水産、食品の各部で増収。利益面は新システムの原価償却費を引き上げたが、営業利益は5・6倍の3000万円、経常利益は2・3倍



天野文男社長

の5200万円、純利益は1・7倍の2600万円となり、増益を達成した。

鮮魚部はマグロやタイの販売強化、水産部は重点得意先に特化した営業を進めたこと、食品部は冷凍食品の販売伸長などで売上高を伸ばした。広島営業所は営業強化と新規顧客獲得を進めてほぼ前期並みの売上高を確保。開設から2年目の四国営業所は増収だった。

沖縄・伊平屋村で地元漁協と共同運営するMarine Linkは、

売上高が22%増の2億5900万円。マグロ、ソデイカの売り上げ拡大には至らなかったが、モズクの原料調達と計画販売が順調に進んだ。シロギスの効率養殖事業は早期採卵に関わるふ化条件の明確化、摂餌率の改善を図ることができた。

近海魚の備蓄配送事業に取り組む新会社のマリネクストは、備蓄場の機能拡張と工場設備を再整備とともに、養魚近海魚の加工機能の充実を図った。設立1年半で黒字化した。

クラハシの今期計画は売上高218億5000万円、経常利益6500万円。EC事業部を立ち上げる他、Web商品展示会開催を予定する。

